環境経営レポート

【令和　５年度版】

認証番号 0011099

令和５年４月１日～令和６年３月３１日

□　住所　愛媛県今治市南大門町４－５－１

□　会社名　西染工株式会社

□　代表者名　山本　敏明

□　令和　６年　４月 27 日

目次

組織の概要	2P～3P
組織の役割・責任・権限	4P
環境経営方針	5P
環境経営目標	6P
環境経営計画の内容と評価のまとめ	7P～11P
次年度の取組内容	11P
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	11P
関連法規一覧	12p^13p

【 組織の概要 】

1. 会社名及び代表者名

西染工 株式会社

代表取締役 山本 敏明

法人設立年月日 昭和43年11月

2. 所在地

〒794-0027 愛媛県今治市南大門町4－5－1

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 山本正文

TEL 0898-22-2588

FAX 0898-23-8478

E-mail syoene@nishisenko.jp

4. 事業の概要

繊維製品企画製造販売　　染色加工

峠店にっし～☆

令和５年 ４月 1日～令和 ６年 3月31日

生産量 1,627t　　(染色加工品 糸 反物)

機能加工一覧

抗菌 防臭加工　　暖 涼感加工　　保湿加工　　芳香加工

ＵＶカット加工　　皮脂 汗吸収加工　　花粉付着防止加工　　防火加工

撥水 撥油加工

＜染まるものは何でも染めてみる＞　がモットーである。

天候や湿度に左右されやすく、それぞれに強い癖を持つ天然素材を、均一な品質で大量に染め上げる技術は高い評価をうけている。

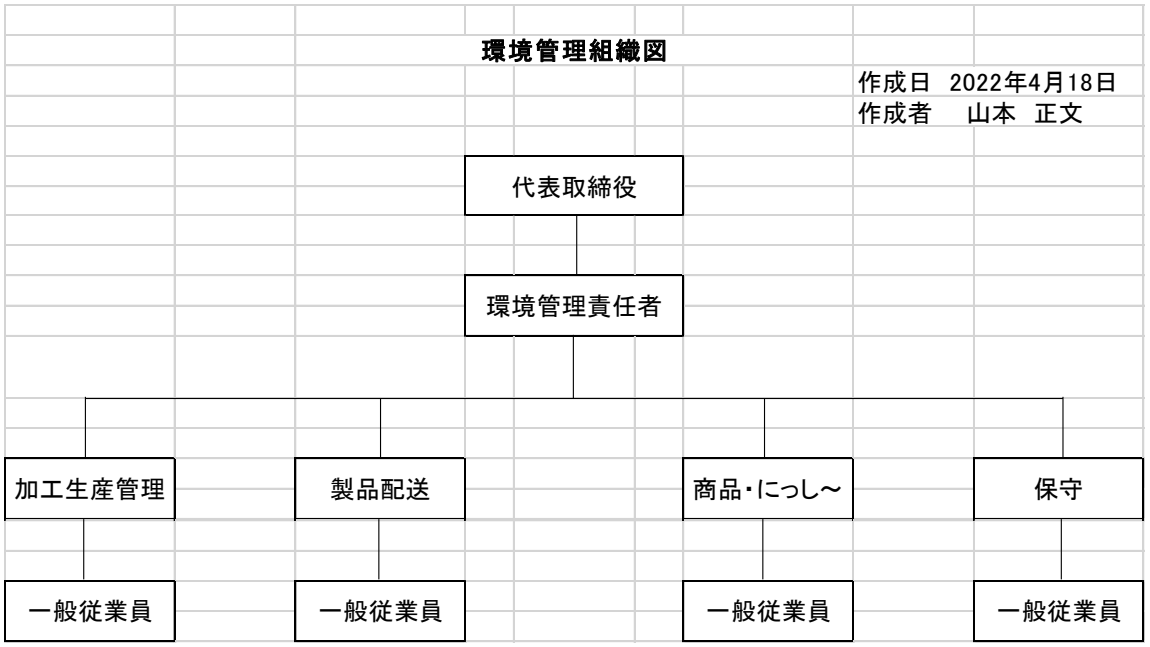
地球環境に優しいオーガニック製品の認証など様々な認証を取得しています

峠店にっし～☆では、かんきつ類・海産物加工品・タオル製品などを販売。

5.　事業の規模

売上高	6億2500万円／年　令和　5年8月期
生産量（重量）	1,627t／令和５年度
従業員数	60名
延べ床面積	6670 ㎡
資本金	1000万円

6.　組織図



【 取組の対象組織・活動範囲 】

1.　対象組織・・・上記６の全組織を対象とする

2.　対象活動・・・当社の全活動を対象とする

組織の役割・責任・権限

職 位	
社長	・当社の最高責任者かつ環境経営システムに関する全ての責任 ・緊急事態発生時の社内全体の総指揮を執る ・法定管理者、主任者の選任 ・当社の環境経営方針の制定、見直し ・環境経営目標（中期・単年度目標）及び環境経営計画の承認と運用実施の評価 ・環境経営レポート作成に対して助言と承認 ・環境経営システムの見直しを毎年１０月に実施し必要な指示を行なう ・環境経営システムを運用し、維持するための経営資源を用意する
環境管理責任者	・ｴｺｱｸｼｮﾝ２１環境経営ｼｽﾃﾑ・環境経営ﾚﾎﾟｰﾄｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ規格に基つく確立、実行、維持 ・環境経営目標・環境経営計画の進捗・達成状況の確認 ・環境経営システムの改善についての審議の開催 ・環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画の周知 ・環境負荷の特定及び環境への取組みの決定 ・環境経営レポートに関係する書類の作成と従業員への周知 ・環境経営システムの実施状況を社長へ報告 ・不適合事項の是正処置及び予防処置結果を社長へ報告 ・経営者による見直しに必要な情報の提供
部門長	・環境経営システムの実施運用に対する責任と権限 ・環境経営目標に従い、部門内への周知と、環境経営方針の展開指導を行う。 ・活動の実績結果を環境管理責任者に報告する。 ・従業員から伝わった環境経営レポートに関する情報を環境管理責任者に伝える
従業員	・環境経営方針を理解し継続的な改善活動に努める。 ・取り決め事項を順守し自主的・積極的に環境経営活動を実施。 ・環境経営レポートに不明点や提言があれば部門長へ伝える

環境経営方針

人と地球の未来を見つめ「染め」を通して豊かな生活文化を創造します。
西染工株式会社は今治で創業し、タオルをはじめ繊維製品全てを染色加工する会社です。環境にやさしい企業を目指して、社員一同で環境問題に取り組み社会に貢献してまいります。

1　環境負荷を特定し、環境経営目標を設定し、定期的に見直しを行い継続的な環境経営 システムの改善に努めます
2　事業活動に関わるあらゆる法規制と、その他要求事項を遵守します。
3　設備機械、所有車両等の適正管理を行い事故防止に努めます。
4　事業活動に伴う環境影響を考慮し、以下の項目について環境負荷の低減に努めます。
（1）二酸化炭素排出量の削減
①省エネルギー
②省資源
（2）廃棄物排出量の削減
（3）水使用量の削減
(4) 環境への取り組みを積極的に推進する。
①事務用品等可能な品目のグリーン購入の推進
②環境に配慮した製品を生産又は販売する。
(5) 環境教育の推進
①環境意識向上のため環境教育を展開し、全構成員に周知啓蒙する
5　環境啓発活動と環境改善の実施を継続的に行う。
（1）従業員にこの環境経営方針を周知するとともに、求められれば一般に公開します
（2）環境経営レポートを広く公表し、社内外に対して情報の提供を行う

作成日　平成３１年　3月　8日
西染工株式会社
代表取締役　　山本　敏明
改定日　令和６年　４月 27 日

環境経営目標　　作成年月日：令和　6年　4月　10日　　作成者 山本　正文

今後、製品出荷量当たりの二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量および水使用量を着実に減らし て行くことをめざし、2021 年度から 2023 年度までの３年間は毎年基準値の１%づつ低減させ ることを当面の目標とする。
当社における環境目標と実績は次のとおりです。 尚、2021 年の値を基準値とした。

項目	年度	2021 年の値	2022 年度 4 月～３月	2023 年度 4 ～3 月		達成状況	2024 年度 4～3 月
		(基準値)	(実績)	(目標)	(実績)		(目標)
製品出荷量	総量(トン／年)	1,657	1,624		1,627		-
CO_2 排出量	総量(t-CO_2/年)	3,919	3,604		2,966		-
	製品出荷量当たり	2.365	2.219	2.318	1.823		2.294
	基準年度比 (%)	—		—2%			—3%
	達成率 (%)				127%	○	
廃棄物排出量	総量(トン／年)	13.35	5.65		2.83		
	製品出荷量当たり (kg/トン)	8.06	3.48	7.90	1.73		7.82
	基準年度比 (%)	-		—2%			—3%
	達成率 (%)				457%	○	
水使用量	総量 (m^3／年)	406,485	386,549		343,893		
	製品出荷量当たり (m^3/トン)	245	238	240	211		237
	基準年度比 (%)	-		—2%			—3%
	達成率 (%)				114%	○	
化学物質		化学物質が使用されない			使用されていないことを確認する		
グリーン購入	グリーン化率(%)	5	6	7	7	○	8
環境に配慮した製品生産量	インクジェットプリント顔料を使用した製品（m）	1250	1320	1450	1280	×	1288

注①　グリーン化率は事務用品・事務機器・現場用ポリ袋等、事務所で調達する物品を対象として エコ商品の購入金額の割合で示す。

②　環境目標の達成状況は、目標と実績の数値を確認することで判断できる。
達成できていれば○、できていなければ×の表示をする。

③　2021 年度目標に対して、製品出荷量当たりの達成状況
$CO_2$23%減・廃棄物 78%減・水使用量 14%減。

④環境に配慮した製品生産量では、幅 1.4m の反物に顔料を使用したインクジェットプリント加工の総延長で表す。

⑤2023 年度の四国電力 CO_2調整後排出係数は 0.000454t-CO_2／Kwh を使用。

【 環境経営計画の内容と評価のまとめ 】

評価基準は、目標以上:◎、目標通り:○、目標以下:△とする。

1.CO_2の削減

① 都市ガス･軽油・ガソリン使用量の削減

環境経営計画の内容	評価	環境経営計画の評価
ボイラーの蒸気圧力の適正化	○	生産状況に合わせて圧力を適正にし、生産効率をあげている。対策済み
蒸気配管の保温、漏れの点検	○	蒸気漏れ、保温不良箇所は早急に補修しエネルギーロスを最小限にしている。対策済み
エコドライブの励行	○	スロー発進で、走行中は無駄なアクセルワークをなくして燃料削減に取り組でいる。対策済み
ボイラー給水・缶水の水質管理	○	軟水器のチェックと毎月水質分析を行いボイラーを良好な状態に保つ。対策済み
ボイラー給水へのドレン回収	○	ドレン回収をすることで給水温度が90℃ぐらいでボイラー効率が良くなる。対策済み
操業時間の見直し	○	加工量に応じて当日の操業時間を決めCO2 の削減に努めている。対策済み

② 電気使用量の削減

環境経営計画の内容	評価	環境経営計画の評価
空気圧縮機の設定圧力の適正化	◎	インバーター運転で使用電力量が減少している。対策済み
不要時の消灯	◎	休憩中、未使用時は消灯を徹底している。対策済み
エアコンの温度設定の適正化 夏:28℃　冬:20℃	○	使用時間を決めて適切に運転をしている。対策済
エアー配管の漏れの点検	○	エアー漏れは早期に発見し早急に補修する。対策済み
エアータンク 3 基での運用	○	エアー圧力の低下を少なくすることでコンプレッサーへの負荷を低減。対策済み

2021 年度の四国電力 のCO_2調整後 排出係数は 0.000574t-CO_2/KWh を使用。

2. 廃棄物排出量の削減

環境経営計画の内容	評価	環境経営計画の評価
リサイクルを行う	○	再利用できる物（段ボール、ビニールシート等）はリサイクルしている。対策済み
無駄な物を出さない。	○	染料、薬品等計量ミスを起こさないように数値の再確認をしている。対策済み
産業廃棄物の管理	○	産業廃棄物管理票交付等状況報告書を 6 月に今治保健所へ報告。対策済み

3. 水使用量の削減

環境経営計画の内容	評価	環境経営計画の評価
適正な給水量で加工する。	◎	バルブ調整で適正な水量で加工している。対策済み
節水を心がける。	◎	バッチ水洗にすることで水使用量の削減ができた。対策済み
配管からの水漏れ点検、補修	○	水漏れをなくすことで、排水量の削減になる。対策済み

4.大気汚染の抑制

環境経営計画の内容	評価	環境経営計画の評価
燃焼管理	○	ガス使用量、給水量、給水温度、排ガス温度、運転時間等の記録し管理している 対策済み
ばい煙等の監視及び測定	○	年 2 回ばい煙測定を実施 排出基準を達成　対策済み

5. 排水処理の管理

環境経営計画の内容	評価	環境経営計画の評価
排水等の監視及び測定を定期的に行い管理する	○	汚泥負荷量測定結果を 6 月に今治保健所へ報告　対策済み
排水処理施設の適切な管理を行う	○	毎月、汚泥性状分析を行い分析結果によりばっ気量等の管理を行い、排水処理施設を良好な状態で運用している　対策済み

6．社会貢献活動

毎月一回、工場周辺の清掃作業を行った。

地区自治会活動で、１０月に浅川の清掃活動を行う。

ＣＳＲ活動

持続可能な世界のために染色技術・製品開発を通してエネルギー対策など自然環境の保全に努め、性別・国籍を超えた徹底したハラスメントの防止、出産や育児支援・介護者支援など働きがいのある環境づくり、さらに「SDGs」を活動の目標として積極的に取り入れて、地域の産業および社会と共生して、永続的に発展するために「SDGs」が示す課題に積極的に取り組んで参ります。

・減圧染色機による加工
・インクジェットプリンター加工
・プラチナナノ粒子加工

【　次年度の取組内容　】

基本的に以下の取組を重点項目とし、本年度取組項目を継続する。

1．二酸化炭素排出量削減に向けて、ボイラー及び空気圧縮機の設定圧力は現場の稼働状況を考慮し適切に行い削減の強化を図る。蒸気配管の保温や漏れ、またエアー配管からの漏れは発見しだい補修を行いエネルギーロスを無くす。ボイラーの主バーナーの燃焼調整を行い良好な状態である。操業時間を見直す（加工量に応じて操業時間を変動する）不要時の照明は消灯する（長期間不使用時はブレイか―を切る。）使用していない機器はブレイカ―を切る、これらによってエネルギー使用量の削減に努める。

2．廃棄物排出量削減のため再資源化に努める。
再利用できるものは、リサイクルを行う。

3．水使用量削減では適正な給水量で加工を行い節水に努める。
水洗時は特に注意をすること。
水洗工程を検討し、試験的に実行して成果を見てみる。
無駄な水の使用はしない。

【 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 】

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去 3 年間ありません。

※別表参照ｐ12・ｐ13

【 代表者による全体の評価と見直し・指示 】

以下に示す通り代表者による全体の評価と見直し・指示を実施しました。今後とも環境改善活動への参加を期待します。

□、エコアクション２１全体への取り組み状況 二酸化炭素削減を実行するために、省エネ機器への更新を進めています。社内組織を明確にし、環境意識の徹底を図る。環境経営方針の取り組みは適切に行われており、現状でよいと思われます。環境経営目標は、毎年４月に見直しを行い、インクジェットプリント顔料を使用した製品の生産量は受注の減少が見込まれることから２０２４年度の目標を下方に修正する。 環境経営システムは有効に機能していますが、毎年 10 月に見直しを検討する。

□、環境経営方針、環境経営目標、環境経営活動計画、EA21 プログラムシートについて 各項目について目標が達成できるよう改善を行っていく。

□、評価のまとめと今後の取り組み

新型コロナウイルス感染症が５類感染症になりましたが、製品出荷量はほぼ横ばい状態である 2021 年基準値に対して、$CO_2$23%減・廃棄物 78%減（2021 年度の排出量が多かった為）・水使用量 14%減となり、目標達成が出来ました。操業時間の見直し（短縮化）に伴い、2021 年度に対して電力使用量 69%・ガス使用量 83%となり、CO_2の削減ができた。

蒸気圧力、エアー圧力の適正化、配管の保温の傷みや配管からの漏れを無くしエネルギー使用量の削減に努める。

水使用量では水洗時間を短くし、バッチ水洗等を取り入れて水使用量の削減に努める。

廃棄物は再資源化に努める。（紙類はリサイクルに出す）

加工量に応じて操業時間を見直し、エネルギー使用量の削減に努める。

製品出荷量が 2%減少していますが、加工量増に向けて努力します。

今後も、省エネルギー化やエネルギーロスを無くし、また、エネルギーの見える化を促進して二酸化炭素排出量の削減につとめ、環境にやさしい企業を目指していきます。

２０２４年４月 23 日
西染工株式会社　代表取締役　山本敏明

様式ー						社　長	環境管理責任者	
関連法規一覧							順法制確認	最新版確認
環境管理責任者は、法改正等があった場合にはその最新版を「法令データー提供システム（総務省ホームページ）」や関係団体からの配布書類・講習会						令和6年4月15日	令和6年4月12日	令和6年4月10日
等から確認して下記一覧表を見直し、必要があれば改定する。許認可申請、各種届出等を行った場合も同様とする。毎年4月に最新版の確認を行い、同時に						山本　敏明	山本　正文	山本　正文
遵守状況を確認し、社長の承認を得て記録として保存する。								

法　律　名	当社の適用項目・適用施設	法規制の主な内容 （許可・届出・国家資格等）	主な規則・条例の内容	遵守評価	改正事項	対応の要否	備　考
水質汚濁防止法 瀬戸内海環境保全特別措置法 第5条	繊維製品製造業 若しくは加工業の用に供する施設	愛媛県知事の許可	PH;;5.8～8.6、 総量規制基準　COD:90mg/L 、　窒素;25mg/　Lリン;5mg/L	○			
大気汚染防止法 第6条第1項	ばい煙発生施設	愛媛県今治保健所長の許可	排出基準の順守	○			
公害防止組織整備法	1日の排出量が1000㎥以上 10000㎥未満の特定工場	水質関係第4種公害防止管理者	選任・届け出	○			
省エネルギー法	第2種エネルギー管理指定工場、原油換算1500KL/年以上	エネルギー管理i管理統括者の選任 エネルギー管理企画推進者の選任 定期報告書・中長期計画書の年次提出	管理員の選任 電気、各種燃料からの報告 削減手法の検討	○			
グリーン購入法	当社は法規制は受けて いないが同規模の会社は 参加している。又、ｴｺｱｸｼｮﾝ21 は求めている。	企業が物品を購入するとき、環境に 易しいと認定された物品を優先 購入する。	事務用品のカタログに記載されている。	○			
廃棄物処理法	廃棄物を出す全ての企業 廃棄物を運搬処理する企業	廃棄物の適正分類、再資源化 マニュフェストの適正運用	最終廃棄（埋め立て）焼却、再資源化 等の重量の管理	○			
消防法	防火対象物	消防計画作成届出書 防火管理者選任届出書	消防訓練（消火　通報　避難） 年1回実施	○			

法 律 名	当社の適用項目・適用施設	法規制の主な内容 （許可・届出・国家資格等）	主な規則・条例の内容	遵守評価	改正事項	対応の要否	備 考
ボイラー及び圧力容器安全規則	炉筒煙管ボイラー 5t/h×2台 伝熱面積 61.46㎡ 最高使用圧力 0.98MPa	設置時の届け出 検査証の掲示、 ボイラー取扱作業主任者の選任、 毎月の自主検査の記録	ボイラー性能検査の実施 ボイラー検査証の有効期間は1年	○			
労働安全衛生法	事業全般	安全衛生管理者	労働者50人以上	○			
			定期健康診断 （1年以内毎）	○			
	玉掛け		技能講習	○			
	フォ―クリフト		技能講習 特定自主検査	○			
フロン排出抑制法	エアコン・ストッカー・ドライヤー等	電動機の定格出力7．5kw未満	簡易点検・記録 3ケ月に1回以上	○			
毒物及び劇物取締法	苛性ソーダ・薄硫酸・過酸化水素		表示・盗難防止措置	○			